



発行責任者: 歯学部長 榎 宏太郎, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



第9回昭和大学学祖祭が開催されました

歯学部長 榎 宏太郎

去る6月9日(日曜日)に、第9回昭和大学学祖祭が開催されました。当日の午前には、多摩霊園内の上條家の墓前にて、ご親族の方々と共に昭和大学役員と執行役員が集い、小口理事長から大学の事業ならびに今後の計画が報告され、参加者全員による献花が行われました。



上條秀介先生、上條一也先生が眠る墓石の前で、本学の現況をお知らせすることは、厳かな中で学祖を身近に感ずることが出来るとともに、現役の者としての責務を静かに見つめ直す機会となりました。当日は、それまでの暑さとは打って変わり、肌寒いほどで、雨も心配されましたが、式の終了まで傘を必要とすることはありませんでした。

墓前報告の後、竣工して一ヶ月の真新しい上條記念館に場所を移し、第9回昭和大学学祖祭が開かれました。上條ホールでの開式の前には、蓄光糸(光を蓄める糸)を初めて使った舞台の緞帳に関する説明が流れ、二階席まで満席となった参加者の皆さんが盛んに携帯で撮影されておりました。昭和大学管弦楽団の前奏の後、小出学長よりご挨拶を頂き、続いて、上條由美理事から上條奨学賞の授与、小出学長から学術奨励研究者の表彰ならびに学業成績優秀賞の授与がなされました。歯学部からは、上條奨学賞研究業績部門を口腔病理学の田中準一助教が、教育功績部門を同じく口腔病理学の美島健二教授が受賞されております。また、学業成績優秀賞は、清水美咲(2年)、飯島由美(3年)、北株賢太郎(4年)、陸田愛実(5年)、酒向遥香(6年)の各氏が受賞されました。

誠にありがとうございます。今後の一層の発展を祈念致しております。

その後、小口理事長から、昨年度の事業報告と中長期の事業計画についての説明がなされ、大学の現状と今後の進む方向が具体的に示されました。

そして、記念講演では、小出学長が、「創立90周年を祝して」と題され、上條講堂の歴史とともに、本学に

おける学位(博士号)授与の歴史が披露されました。

昭和大学宣言の後に、グリークラブとアカペラ部による校歌斉唱を以て閉式となり、その後は、ホテルのような立派な地下一階のバンケットルームに場所を移しての懇親会となりました。

今年の学祖祭は、完成したばかりの記念館だったからでしょうか、本学の歴史の流れを感じるとともに、改めて学祖の願いに憶いを抱かせる会だったように感じます。

上條記念館竣工式がおこなわれました

歯学研究科長 高見正道

令和元年5月8日、本学創立90周年事業の一環として建設された上條記念館の竣工式が行われました。定礎除幕式の後、記念館4階の「赤松」に設置された祭殿前に施工関係者、品川区行政・自治会関係者、来賓および昭和大学関係者が参列し、旗岡八幡神社による祈禱・拝礼が行われました。

本記念館は、地下2階・地上5階建てで、641席の上條ホール(講堂)をはじめ、バンケットルームや7つの会議室を備えています。上條ホールのステージに設置された緞帳(どんちょう)は、多摩美術大学名誉教授で日本画家の中野嘉之氏が描いた富士山の原画を基として、光応答性素材を用いた繊維で織られており、照明の色や角度を変えることによって富士山の四季や朝夕の変化を醸し出すことができます。

また、地下2階には、上條ミュージアム展示室が開設され、上條秀介先生ゆかりの品々のほか、大学の貴重な資料や物品が展示されており、昭和大学の歴史をじかに感じ取ることができます。この素晴らしい記念館が今後、研究や教育に活用される様子を想像するだけでも大変嬉しく思います。



令和元年度特別奨学生採用式が開催 されました

歯学研究科長 高見正道

令和元年5月28日午後6時30分より、昭和大学特別奨学生採用式が上條記念館の富士桜にて開催され、医学部(19名)、歯学部(7名)、薬学部(9名)の学生が出席しました。本奨学制度は、学部4年時の成績上位者のうち、卒業後に本学大学院に進学するなどの条件を満たした学生に対して、5・6年次の授業料相当額を奨学金として支給するものです。

今年度の歯学部の奨学生として、現在第5学年の芦田圭介さん、池端陽介さん、金田一和香さん、徳増梨乃さん、宮本侑佳さん、山田明佳さんおよび陸田愛美さんが採用されました。小出学長と小口理事長の挨拶の後、学長より各奨学生に対して奨学生採用証書がひとりずつ手渡されました。奨学生代表として歯学部の徳増梨乃さんが謝辞を述べた後、昭和大学宣言と校歌斉唱をおこなう予定でしたが、設備上の不具合で校歌の伴奏曲が流れなかったため、小出学長の高らかな発声につづいて皆で校歌を斉唱しました。学生は皆、富士吉田教育部の寮生活で毎朝校歌を聴いて過ごしていたため、伴奏がなくても歌い終えました。今後、奨学生のみなさんが大きく成長され、将来の歯科界を牽引する人材に育ってくれることを期待しています。



D2, D3研究入門の優秀者が表彰 されました

口腔生化学講座 宇山 理紗

平成30年度の「研究入門」を履修した学生は、歯学部2年生(D2)17名(現3年生)、歯学部3年生(D3)7名(現4年生)でした。今回、D2からは6名、D3から3名の学生が優秀者として令和元年5月15日の教授会で表彰されました。本選択科目は、学生が10日間、基礎系の研究室で各自設定した目標に向かって研究を行うものです。履修者は実習後に報告書を提出し、その内容を基礎系の各講座・部門の教育職員が評価しました。その結果、D2は1位が四宮寛大さん、2位が引田彩香さん、3位が渡部玖充さん、4位が渡辺理沙さん、5位が利井伸光さん、6位が渋谷有徳さんとなりました。また、D3は1位が岩瀬りささん、2位が高橋夏大さん、3位が白井健太郎さんとなりました。選ばれた



学生達には、槇歯学部長より表彰状を授与されました。本実習で経験した研究への興味、また習得した研究手法および研究遂行能力を是非将来にいかして頂きたいと思います。



留学生交歓会が開催 されました

歯学研究科長 高見正道

令和元年5月20日午後18時30分より、国際交流センター主催の『大学院留学生Welcome Party』が上條記念館1階富士桜において開催されました。今年度は、アルジェリア(1名)、エジプト(2名)、ミャンマー(2名)、中国(2名)、ボスニア・ヘルツェゴビナ(1名)、マダガスカル(2名)、タイ(1名)の計11名の大学院留学生のほか、4名の学部留学生(タイ2名、米国1名、カナダ1名)が来日しました。小出良平学長の挨拶の後、各国の大使館から出席された大使や参事官が挨拶され、留学生も一人ずつ本学の指導教員とともに日本語を混ぜえながら挨拶しました。

歯学部の留学生は、ボスニア・ヘルツェゴビナのナターシャ トウルティッチさん(口腔微生物学)、マダガスカルのジャック アドリエン ラマガソンさん(口腔外科学)とタヒイーナ ラチラスーさん(歯科矯正学)の3名で、すでに歯学部で臨床や研究に取り組まれています。パーティーは国際色豊かな楽しい雰囲気です。閉会の挨拶では私が、「私の留学経験から言えることは、ぜひ日本で友達をたくさん作って欲しいということです」と述べ、各国と昭和大学の友好関係が一層深まるよい機会となりました。



認定医・専門医取得

広報委員長 中村 雅典

日本歯周病学会 認定医:

山田 純輝 (助教)

中村 紫野 (兼任講師)

令和元年度父兄会総会が開催されました

教育委員長 飯島 毅彦

令和元年6月8日、父兄会が行われました。今年は昨年より50名多い、120名(114組)のご父兄が参加されました。旗の台4号館において6年生のご父兄への説明会に続き、修学支援学生のご父兄対象の説明会が行われました。引き続き、本年4月に竣工された上條記念館に移り、全学部の父兄が集まり父兄会が行われた後、各学部ごとに全学年の父兄を対象とした説明会が行われました。榎学部長が学生からの声に耳を傾け、これからより優れた教育を提供できるよう教育改革を進めていくと話をされました。その後、健康な学生生活の送り方について上條学生部長が話をされ家庭での協力を求められました。高見研究科長は研究により広がる世界の面白さを解説されました。教育委員長からは進級判定は厳しく行う旨、確認がありました。その後、地下1階に移動し、全学部の父兄が一堂に会し、小口理事長、小出学長のご挨拶で懇親会がはじまりました。和やかな雰囲気では進みました。ふるさと会は試食コーナーを設け、全国各地の珍味がふるまわれました。年に2回行われる父兄会ですが、教員と父兄との懇親、父兄同士の懇親が図られる良い機会でした。上條記念館での初めての父兄会であり、気持ちの良い新装の懇親会場は父兄の方々にも喜んでいただけたものと思われま



上條奨学賞(研究業績部門)を受賞して

口腔病理学部門 田中 準一

令和元年6月9日(日)午後1時より上條記念館にて開催された第9回学祖祭で、上條奨学賞(研究業績)を受賞しました。

当日は、小出良平学長によるご挨拶のあと、上條由美理事より上條奨学賞が授与されました。本年の上條奨学賞(研究業績)は医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部から各1名が受賞いたしました。

本年の学祖祭は上條記念館で行われる最初の学祖祭であり、記念撮影後には上條記念館の地下に設置された展示室を見学させていただきました。また、

学祖祭終了後には、懇親会が上條記念館地下1階のバンケットルームで行われ、日頃よりご指導頂いている多くの先生方よりお祝いのお言葉を戴きました。

私の受賞テーマは「マウスES細胞由来3次元唾液腺組織の誘導」であり、このような光栄な賞を受賞できたのは、研究のご指導、ご協力いただきました学内外の多くの先生方によるものであります。この場を借りて心より御礼申し上げます。本研究テーマの発展を目指して今後も精進して参りますので、ご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



上條奨学賞(教育功績部門)を受賞して

口腔病理学部門 美島 健二

この度は栄誉ある上條奨学賞(教育功績部門)を賜り大変光栄に存じます。本賞は、富士吉田教育部、医学部、歯学部、薬学部ならびに保健医療学部における教育功績に対して授与されるもので、各学部からそれぞれ1名が選出され、計4名が先の6月9日に行われた学祖祭において表彰されました。

私は、平成25年より、国家試験対策委員会であるD6チューター会議の議長を務め、チューター委員の先生方と協力して、卒業試験や国家試験対策講義の質向上に努めて参りました。また、平成27年から平成30年まで、歯学部教育委員長を拝命し、宮崎前歯学部長のもと歯学部カリキュラムの策定とその推進に従事して参りました。

本賞の受賞は、日頃から学生教育にご尽力頂いております歯学部をはじめ多くの教育に携わられた先生方の功績が認められたもので、決して私一人に与えられたものではありません。これまで多くのお力添えを賜りました先生方に心より御礼申し上げます。

本年度から、榎歯学部長、飯島教育委員長を中心に新しい教育カリキュラムの策定が行われております。私も微力ながら学生教育に尽力していきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



昭和大学白菊の集いが開催されました

口腔解剖学講座 中村 雅典

令和元年度
昭和大学白菊
の集いが6月
8日に50周年
記念館で開催
されました。医
学部・歯学部
の白菊会会員



200余名が出席されました。本年度は歯学部担当で、口腔解剖学講座の中村による開会の辞に引き続き、解剖学実習にご献体いただいた物故会員への黙祷、小出良平学長、小川良雄医学部長ならびに榎宏太郎歯学部長によるご挨拶の後、歯学部歯周病学講座の山本松男教授に「歯周病と全身の関わり」と題してご講演をいただきました。会員は熱心に先生のご講演を聞き、ご講演後には会員から多くの質問がありました。山本先生は質問に分かりやすく熱心にご回答いただき、実り多い講演となりました。最後に医学部解剖学講座の大塚成人教授による閉会の辞があり、来年も元気で会えることを約束し、盛会のうちに終了しました。今年度は歯学部担当であることから、現在人体解剖実習を行っている歯学部2年生20名が会の運営に参加してくれました。学生諸君は自分たちの教育がこの様な篤志献体によって支えられていることを実感し、これからの勉学に一層精進することを祈念しています。最後に、昭和大学歯学部白菊会に今年度新たに12名にご登録いただき、また、ご献体いただいた物故会員は20名です。



受賞

広報委員長 中村 雅典

日本補綴歯科学会第128回学術大会

- ・中井健人(大学院生):ポスター賞(デンツプライ賞)
「睡眠時ブラキシズム特異的iPS細胞由来GABA作動性神経細胞の電気生理学的評価」
- ・中里友香理(助教(歯科)):課題口演賞
「振動フィードバック刺激を用いた睡眠時ブラキシズムの抑制」



国家試験分析・卒業試験問題作成ワークショップが開催されました

D6チューター会議委員長 船津敬弘

国試分析・卒業試験
問題作成ワークショップ
が5月25日に開催され
ました。歯学部の各講
座・部門で卒業試験問
題をまとめているブラッ



シュアップ担当の先生を中心として、25名の先生方にご参加いただきました。午前は第112回の国家試験問題の分析に続き、作問のポイントに関する講義が鈴木規元ブラッシュアップ委員長からは必修問題、馬場一美教授から臨床実地問題について行われ、皆真剣に聞き入るとともに、日頃疑問に思っている点について質疑応答が行われました。午後は6班に別れてグループワークを行い、国試の各科に関連する出題の分析、事前に作問提出いただいた問題のブラッシュアップと発表でした。こちらでも出題内容や講義への取り入れ方などを中心に活発な討議がされ、盛会のうちに修了となりました。第112回歯科医師国家試験結果は良好でしたが、更なるステップアップとして全員合格を目指し、卒業試験を中心とした第6学年の教育について再考する貴重な機会になったと感じております。卒業試験での良問作成、ひいては次年度の国家試験合格率の上昇を切に願っております。



行事予定

広報委員長 中村 雅典

- 7月 1日(月):夏季スポーツ大会壮行会
- 7月21日(日):歯学部オープンキャンパス
- 7月27日~ :第51回全日本歯科学学生総合
8月9日(月~金) 体育大会夏期部門
- 7月28~29日:富士吉田オープンキャンパス
(日~月) 富士吉田入寮体験
- 7月30, 31日:昭和大学教育者のための
(火, 水) ワークショップ(アドバンスコース)

編集後記

歯科理工学部門 堀田 康弘

新しい元号と共に、行事は全て上條記念館での開催となり、大きな変化を感じます。末筆ながら、ご多忙の折ご寄稿下さいました皆様方に感謝致します。